

『王香日誌』について

筆者である島村^{さん}賛（号は王香^{おうこう}、字は子襄^{しじょう}、旧名襄輔^{じょうすけ}）は、弘化3（1846）年、出石藩士で漢学者の島村^{こうどう}弘堂（名は鼈^{べつ}、字は千里^{せんり}）の長男として生まれました。幕末に相馬に遊学し、維新後は教育者として但馬の小・中学校の設立と運営に携わります。晩年は出石神社の^{ねぎ}祢宜を勤め、明治42（1909）年に死去しました。

豊岡市立歴史博物館が所蔵する賛の日記は、明治12（1879）年、14（1881）年～18（1885）年までを記録する『王香日誌』4冊、明治20（1887）年から28（1895）年（26、27年を欠く）『日曆』7冊、明治32（1899）年の『^{きがいにちじょう}己亥日乗』1冊、市販の日記帳に書かれた明治39（1906）までの7冊が残されています。

今回公開したのは、明治14年の1月から12月、15年の1月から3月、18年の11・12月を記した1冊で、豊岡市出石町のシンボル辰鼓楼の大時計始動の日（明治14年9月8日。ただし日記では9月9日条に前日の事として記述）や、民権運動家中島信行（後に豊岡出身の民権運動家中島俊子と結婚）が出石で講演を行ったことなどが書かれています。

【問い合わせ先】

豊岡市観光文化部文化・スポーツ振興課文化財室
〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808
TEL：0796-21-9012 FAX：0796-42-6112
E-mail：bunkazai@city.toyooka.lg.jp